



発行所
山形新聞社
 〒990-8550
 山形市旅籠町2-5-12
 総合案内 023(622)5271
 読者センター 023(622)5666
 (平日9時30分～17時30分)
 (c)山形新聞社2017

2017年
 3月10日
 <金曜日>

電子速報版

やましん 聞

特別号外

■やまがた
 ニュースオンライン
yamagata-np.jp

■携帯・スマホ
yamagata-np.jp/mobile/



詳しくは山形新聞を
 ご覧ください。

南スーダンPKO撤収へ



2012年1月、PKO参加のため南スーダンの首都
 ジュバに到着した陸上自衛隊の先遣隊本隊 (共同)

5月末で活動終了 首相 情勢悪化考慮か

安倍晋三首相は10日、南スーダン国連平和維持活動(PKO)への陸上自衛隊派遣に
 関して「5月末を目途に活動を終了させることを決定した」と官邸で記者団に明らかにした。「(首都)ジュバの施設整備に一定の区切りを付けることができ」と述べた。現在活動中のジュバの治安情勢も考慮した可能性
 がある。

昨年11月に政府は、安全保障関連法に基づく「駆け付け警護」の新任務付与を閣議決定。自衛隊の海外任務拡大を進めようとしたが、閣議決定から約4カ月で撤収に踏み切ることにした。新任務付与の閣議決定の際、PKO参加5原則が満たされている場合でも「安全を確保しつつ、有意義な活動を実施することが困難と認められる場合」が生じれば、国家安全保障会議(NSC)審議の後、部隊を撤収すると
 の項目を設けた。首相は国会答弁などで、自衛隊が任務を果たせる状況でなくなつた場合に「ちゅうちよなく撤収したい」と発言していた。

以上が死亡した武力衝突が生じた時期の日報で「戦闘」との表現が使用されていたことが今年2月に発覚。危険性を派遣部隊自身が認識していたことが明らかになり、野党が批判を強めていた。

南スーダンPKOのアフリカのスーダンの内戦後、2011年に分離独立した南スーダンの安定と開発支援が目的の国連平和維持活動(PKO)。正式名称は「国連南スーダン派遣団(UNMIS)」。現在、日本が参加する唯一のPKO。12年1月からインフラ整備を任務とする陸上自衛隊を派遣している。現在は11次隊で第5普通科連隊(青森市)など約350人が首都ジュバで活動中。

購読・試読のお申し込みは▶
 フリーダイヤル 0120-81-8040